

中小企業景況調査報告書

2021年4～6月期実績

2021年7～9月期予測

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料にするため、国・道の指定事業として、全国商工会連合会を中心に昭和54年から全国一斉に実施しているものである。
調査要領と、北海道分の調査対象20商工会の回答企業数は、次のとおりである。

1. 調査要領

(1) 調査対象時期等

①調査対象時期：2021年4～6月期の実績及び2021年7～9月期見通し

②調査期間：2021年5月21日～6月1日 ※調査時点は2021年6月1日

(2) 調査方法

①商工会の経営指導員等による訪問面接調査

②調査対象企業の抽出は、業種・規模等の有意抽出法による。

(3) 調査対象商工会

①人口～9,999人・・・せたな、ニセコ町、積丹町、北竜町、南富良野町、遠別枝幸町、安平町、大樹町、広尾町、標茶町

②人口10,000～29,999人・・・七飯町、えんがる、湧別町、新ひだか町、別海町

③人口30,000人～(市に含まれる)・・・石狩北、北斗市、いわみざわ、あさひかわ

(4) 回答企業数

業種	調査企業数	回答企業数	回答率	業種	調査企業数	回答企業数	回答率
製造業	52	50	96.2%	小売業	86	83	96.5%
建設業	46	43	93.5%	サービス業	116	107	92.2%
				合計	300	283	94.3%

※設備投資の設問については、未回答の企業があるので回答企業数とは一致しない業種があります。

(5) D I = ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)とは？

前年同期と比べて、「増加(上昇・好転)」-「減少(低下・悪化)」の回答企業の比率。

例えば、売上高が前年同期比で「増加」回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、D I は $50-20=+$ 30となり、売上高の面では「増加(上昇・好転)」気運であることを表わす。

2. 全業種の業況(前年同期比、前期比の推移) ※D I 値のみ

業種	前年同期比		前期比					
	今期	来期見込	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	今期	来期見込
製造業	▲ 32.7	▲ 26.6	▲ 52.1	▲ 24.5	▲ 22.9	▲ 27.6	▲ 12.8	▲ 26.6
建設業	▲ 2.4	▲ 2.4	▲ 13.3	▲ 12.8	▲ 7.0	▲ 18.6	0.0	▲ 4.9
小売業	▲ 35.0	▲ 43.8	▲ 56.1	▲ 54.1	▲ 32.0	▲ 47.5	▲ 30.5	▲ 42.1
サービス業	▲ 48.6	▲ 44.7	▲ 70.0	▲ 31.0	▲ 40.3	▲ 62.0	▲ 42.4	▲ 29.2

3. 北海道内商工会地域の状況

製造業 主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R2. 7-9	R2. 10-12	R3. 1-3	今期	来期見込
業況	好転した	6.1	6.7	13.3	10.4	6.4	14.9	6.1
	不変	55.1	60.0	48.9	56.3	59.6	57.4	61.2
	悪化した	38.8	33.3	37.8	33.3	34.0	27.7	32.7
	D・I	▲ 32.7	▲ 26.6	▲ 24.5	▲ 22.9	▲ 27.6	▲ 12.8	▲ 26.6
売上(加工)額	増加した	16.0	10.0	29.2	22.4	12.8	24.5	
	不変	46.0	46.0	27.1	38.8	14.9	34.7	
	減少した	38.0	44.0	43.7	38.8	72.3	40.8	
	D・I	▲ 22.0	▲ 34.0	▲ 14.5	▲ 16.4	▲ 59.5	▲ 16.3	
資金繰り	好転した	6.1	0.0	4.3	2.1	2.2	6.4	
	不変	61.2	65.3	63.1	78.8	73.9	57.4	
	悪化した	32.7	34.7	32.6	19.1	23.9	36.2	
	D・I	▲ 26.6	▲ 34.7	▲ 28.3	▲ 17.0	▲ 21.7	▲ 29.8	
原材料仕入単価	上昇した	46.9	34.7					
	不変	47.0	59.2					
	低下した	6.1	6.1					
	D・I	40.8	28.6					
採算(経常利益)	好転した	8.2	10.2					
	不変	42.8	49.0					
	悪化した	49.0	40.8					
	D・I	▲ 40.8	▲ 30.6					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

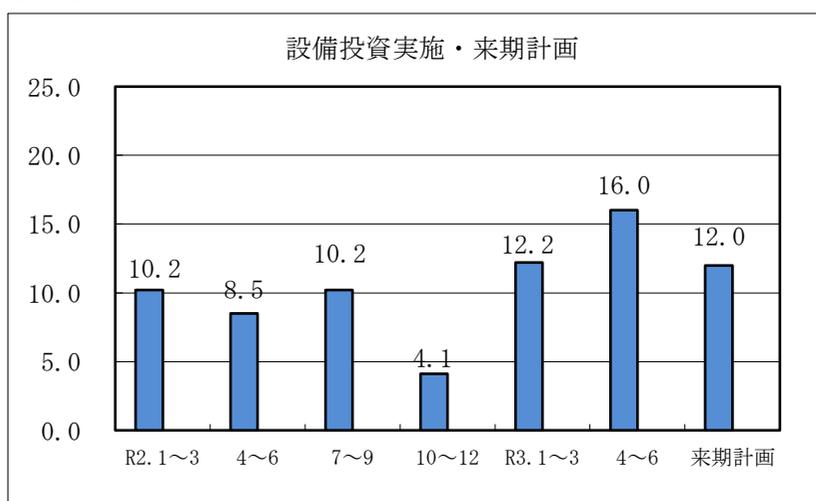
回答50事業所の内、8事業所(16.0%)が実施。

●土地、工場建物、車両・運搬具、付帯施設=各1事業、●生産設備=3事業所、●その他=3事業所

【来期計画内容】

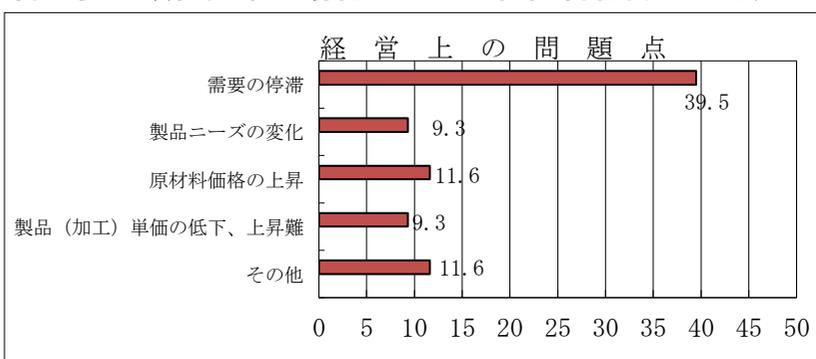
回答50事業所の内、来期に6事業所(12.0%)が計画。

●生産設備=3事業所、●車両・運搬具=1事業所、●その他=2事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回同様「需要の停滞」で前回より7.7ポイント増加している。2位は「原材料価格の上昇」で4.8ポイント増加している。3位は「その他」で2.5ポイント増加している。4位は「製品のニーズの変化」で4.3ポイント減少した。5位は前回番外の「製品(加工)単価の低下、上昇難」で9.3ポイント上昇した。また、前回4位の「熟練技術者の確保難」は番外となった。



建設業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前期比				
		今期	来期見込	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	今期	来期見込
業況	好転した	20.9	14.3	10.6	9.3	11.6	19.0	19.5
	不変	55.8	69.0	66.0	74.4	58.2	62.0	56.1
	悪化した	23.3	16.7	23.4	16.3	30.2	19.0	24.4
	D・I	▲ 2.4	▲ 2.4	▲ 12.8	▲ 7.0	▲ 18.6	0.0	▲ 4.9
完成工事 (請負工 事) 額	増加した	25.6	11.6	36.2	28.3	20.9	29.3	
	不変	46.5	58.2	34.0	41.3	37.2	39.0	
	減少した	27.9	30.2	29.8	30.4	41.9	31.7	
	D・I	▲ 2.3	▲ 18.6	6.4	▲ 2.1	▲ 21.0	▲ 2.4	
資金繰り	好転した	14.3	7.1	13.0	6.7	2.4	14.6	
	不変	71.4	78.6	74.0	80.0	80.5	73.2	
	悪化した	14.3	14.3	13.0	13.3	17.1	12.2	
	D・I	0.0	▲ 7.2	0.0	▲ 6.6	▲ 14.7	2.4	
材 料 仕入単価	上昇した	45.2	45.2					
	不変	54.8	54.8					
	低下した	0.0	0.0					
	D・I	45.2	45.2					
採算(経 常利益)	好転した	14.0	9.3					
	不変	58.1	67.4					
	悪化した	27.9	23.3					
	D・I	▲ 13.9	▲ 14.0					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

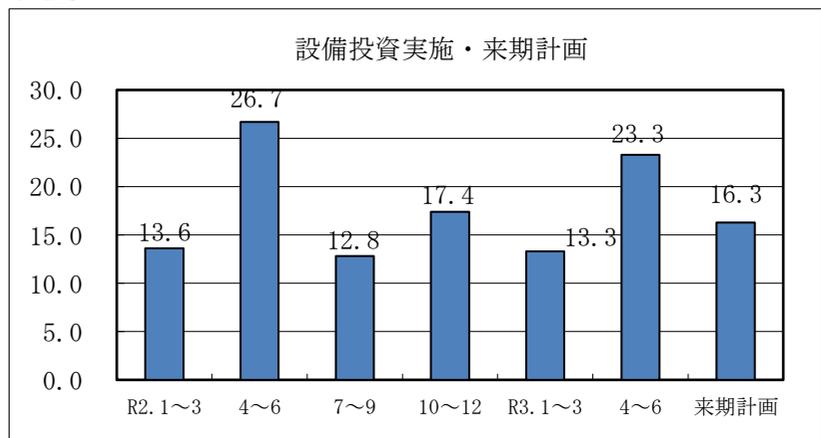
回答43事業所の内、10事業所(23.3%)が実施。

●土地・OA機器=各1事業所、●建物=2事業所、●建設機械=3事業所、●車両・運搬具=5事業所

【来期計画内容】

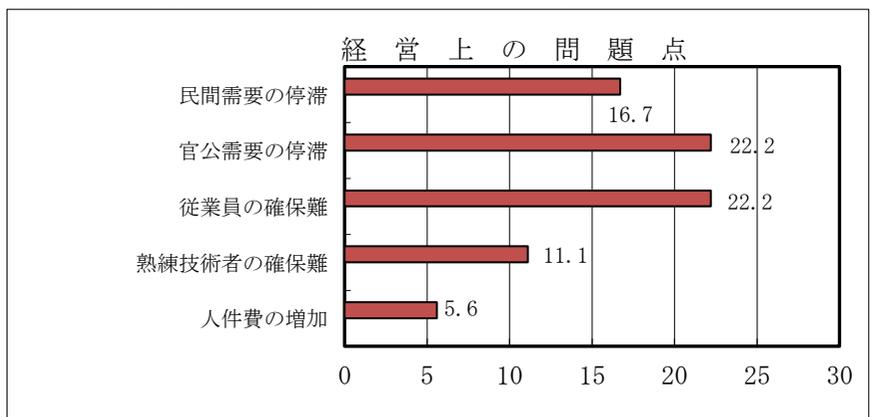
回答43事業所の内、来期は7事業所(16.3%)が計画。

●土地、その他=各1事業所、●建設機械、車両・運搬具=各4事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回3位の「従業員の確保難」で前回より5.1ポイント増加している。2位は「官公需要の停滞」で5.1ポイント増加した。3位は前回1位の「民間需要の停滞」で0.3ポイント減少した。4位の「熟練技術者の確保難」は、3.2ポイント減少し、5位の「人件費の増加」は3.0ポイントの減少であった。



小 売 業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R2. 7-9	R2. 10-12	R3. 1-3	今期	来期見込
業 況	好転した	8.4	5.0	0.0	6.7	6.4	4.2	5.3
	不 変	48.2	46.2	45.9	54.6	39.7	61.1	47.3
	悪化した	43.4	48.8	54.1	38.7	53.9	34.7	47.4
	D・I	▲ 35.0	▲ 43.8	▲ 54.1	▲ 32.0	▲ 47.5	▲ 30.5	▲ 42.1
売上額	増加した	21.7	6.3	21.7	18.3	8.4	20.5	
	不 変	31.3	42.4	34.9	40.2	37.3	42.2	
	減少した	47.0	51.3	43.4	41.5	54.3	37.3	
	D・I	▲ 25.3	▲ 45.0	▲ 21.7	▲ 23.2	▲ 45.9	▲ 16.8	
資金繰り	好転した	5.0	6.4	0.0	4.9	3.6	3.8	
	不 変	65.0	56.4	68.3	74.4	65.1	74.4	
	悪化した	30.0	37.2	31.7	20.7	31.3	21.8	
	D・I	▲ 25.0	▲ 30.8	▲ 31.7	▲ 15.8	▲ 27.7	▲ 18.0	
商 品 仕入単価	上昇した	25.3	21.0					
	不 変	67.5	66.7					
	低下した	7.2	12.3					
	D・I	18.1	8.7					
採算(経 常利益)	好転した	6.0	3.7					
	不 変	47.0	45.7					
	悪化した	47.0	50.6					
	D・I	▲ 41.0	▲ 46.9					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

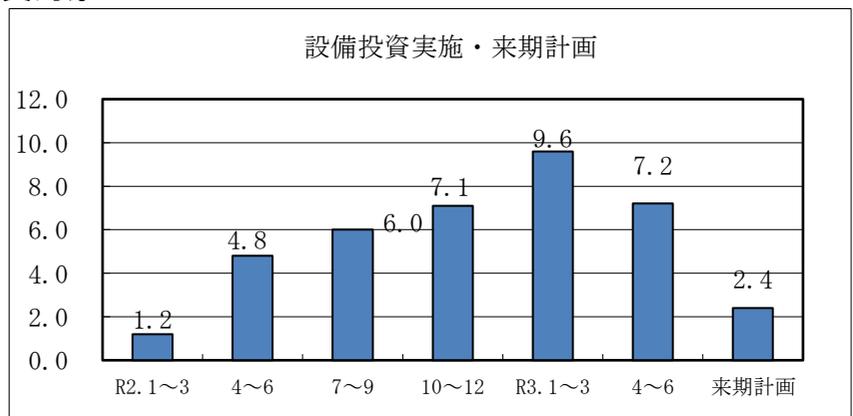
回答83事業所の内、6事業所(7.2%)が実施。

●店舗、販売設備、その他=各1事業所、●車両・運搬具、OA機器=各3事業所

【来期計画内容】

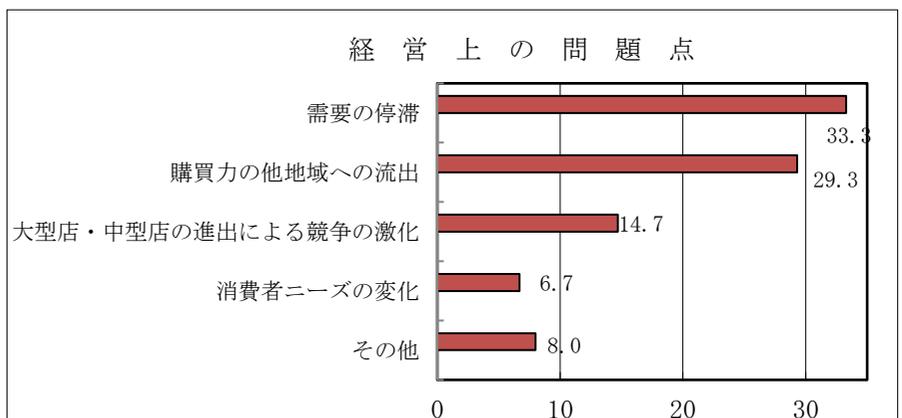
回答83事業所の内、来期は2事業所(2.4%)が計画。

●車両・運搬具、OA機器=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

今回の1位も「需要の停滞」で、前回から3.6ポイント増加した。2位も前回と同じく「購買力の他地域への流出」で7.7ポイント増加した。3位も変わらず「大型店・中型店の進出による競争の激化」であったが、前回から1.5ポイント減少した。4位と5位の順位が入れ替わり、4位の「その他」は1.5ポイント減少し、5位の「消費者ニーズの変化」も4.1ポイントの減少となっている。



サービス業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R2. 7-9	R2. 10-12	R3. 1-3	今期	来期見込
業況	好転した	5.7	2.9	15.0	7.1	1.1	5.1	8.7
	不変	40.0	49.5	39.0	45.5	35.8	47.4	53.4
	悪化した	54.3	47.6	46.0	47.4	63.1	47.5	37.9
	D・I	▲ 48.6	▲ 44.7	▲ 31.0	▲ 40.3	▲ 62.0	▲ 42.4	▲ 29.2
売上(収入)額	増加した	17.0	5.6	26.4	12.1	6.1	18.3	
	不変	29.2	47.7	30.2	38.3	29.6	33.6	
	減少した	53.8	46.7	43.4	49.6	64.3	48.1	
	D・I	▲ 36.8	▲ 41.1	▲ 17.0	▲ 37.5	▲ 58.2	▲ 29.8	
資金繰り	好転した	1.9	1.9	7.8	2.8	1.0	1.0	
	不変	51.9	54.3	62.1	58.9	54.1	61.1	
	悪化した	46.2	43.8	30.1	38.3	44.9	37.9	
	D・I	▲ 44.3	▲ 41.9	▲ 22.3	▲ 35.5	▲ 43.9	▲ 36.9	
仕入単価(材料等)	上昇した	19.6	22.6					
	不変	76.7	69.9					
	低下した	3.7	7.5					
	D・I	15.9	15.1					
採算(経常利益)	好転した	5.7	2.9					
	不変	39.6	47.6					
	悪化した	54.7	49.5					
	D・I	▲ 49.0	▲ 46.6					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

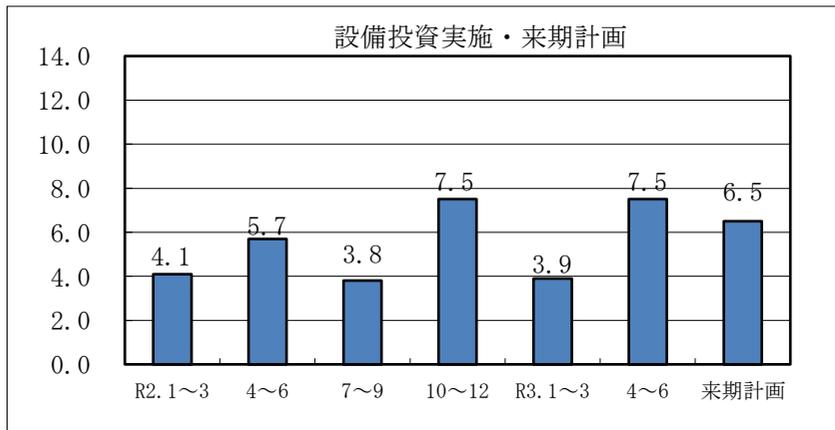
回答107事業所の内、8事業所(7.5%)が実施。

●建物、OA機器、その他=各2事業所、●サービス=3事業所、●車両・運搬具=1事業所

【来期計画内容】

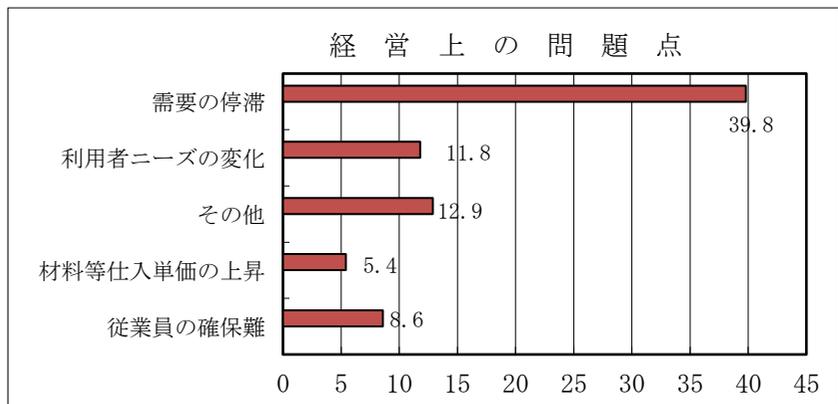
回答107事業所の内、7事業所(6.5%)が計画。

●建物=4事業所、●車両・運搬具=2事業所、●OA機器=1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回と同じく「需要の停滞」であったが前回より1.8ポイント減少した。2位は「その他」で3.9ポイント増加した。3位は「利用者ニーズの変化」で2.8ポイント減少した。4位は「従業員の確保難」で6.7ポイント増加した。5位は前回番外であった「材料等仕入れ単価の上昇」で、0.9ポイント増加した。前回4位の「店舗の狭隘・老朽化」は0.4ポイント減少し番外となっている。



4. 全国と対比した主要景況項目の動向 -前年同期比D I-

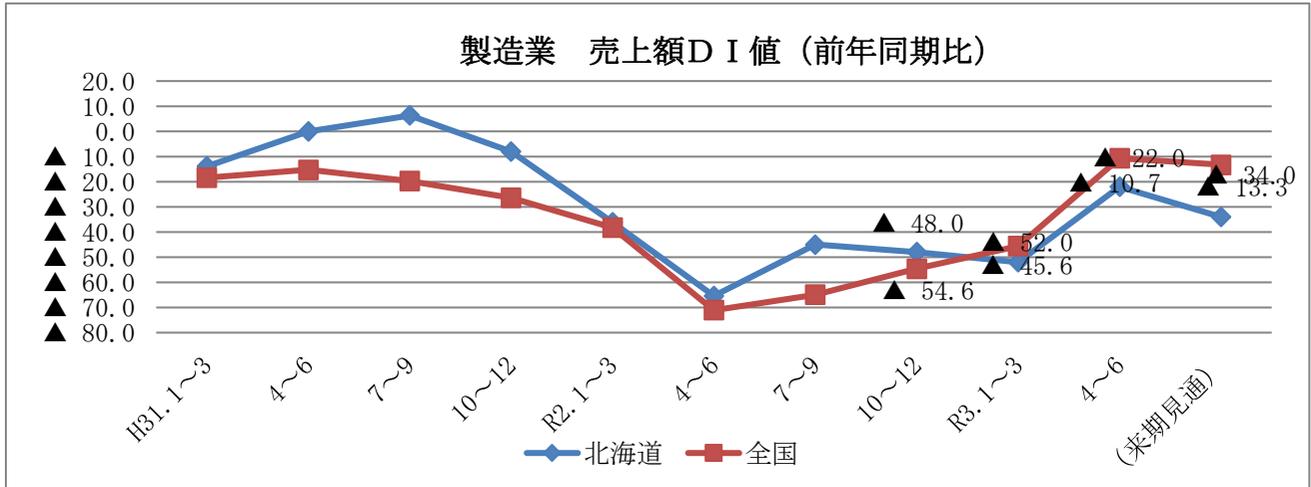
【各調査時期における前年同期比の「増加(上昇・好転)」回答企業比率-「減少(低下・悪化)」回答企業比率】

製造業

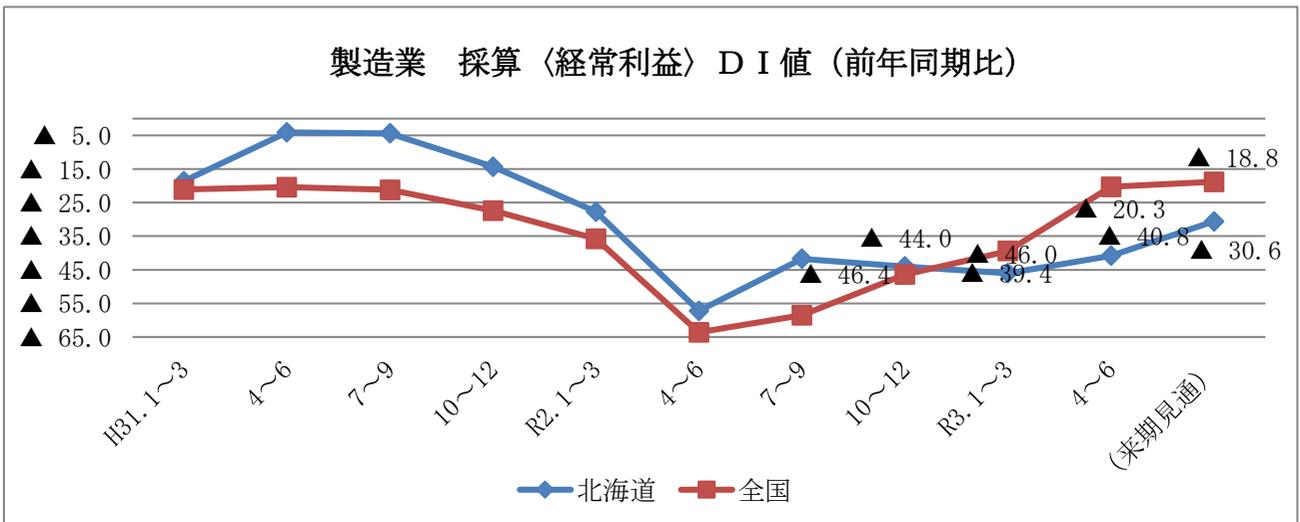
【北海道】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
(見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少

【全国】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
(見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少

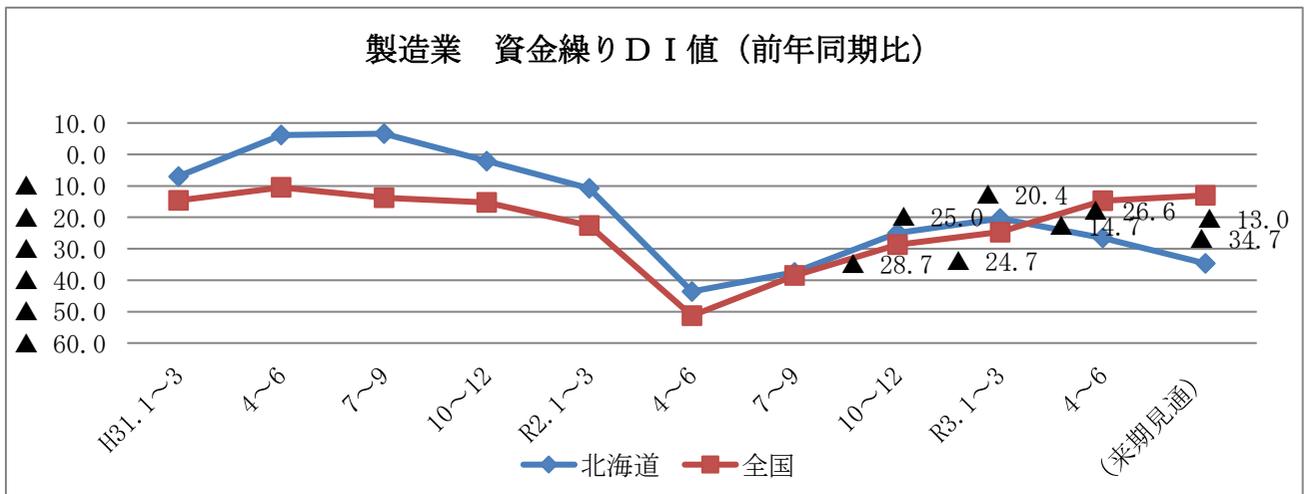
売上額



採算



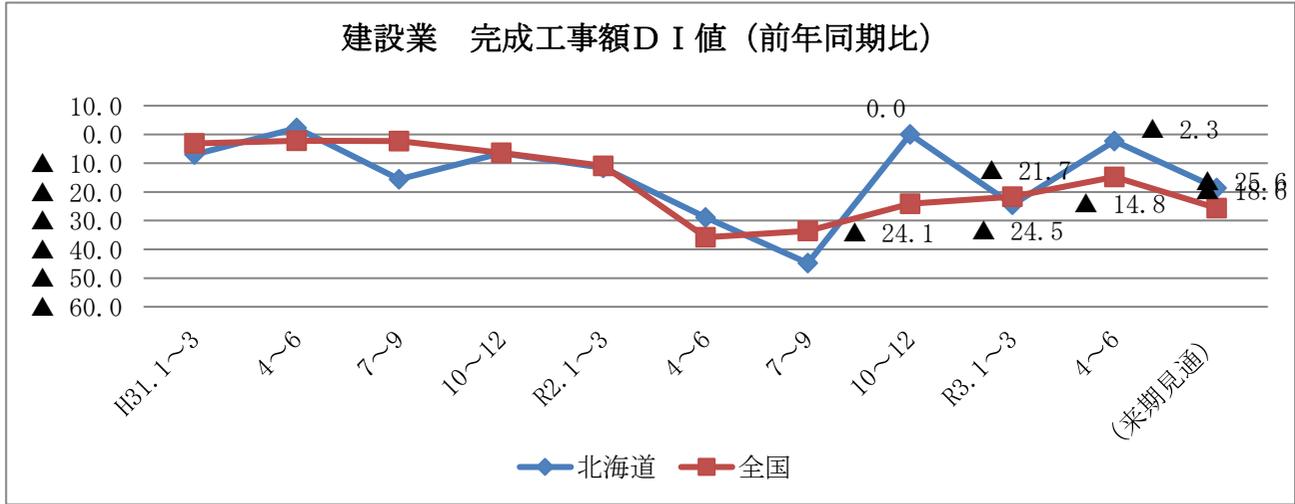
資金繰り



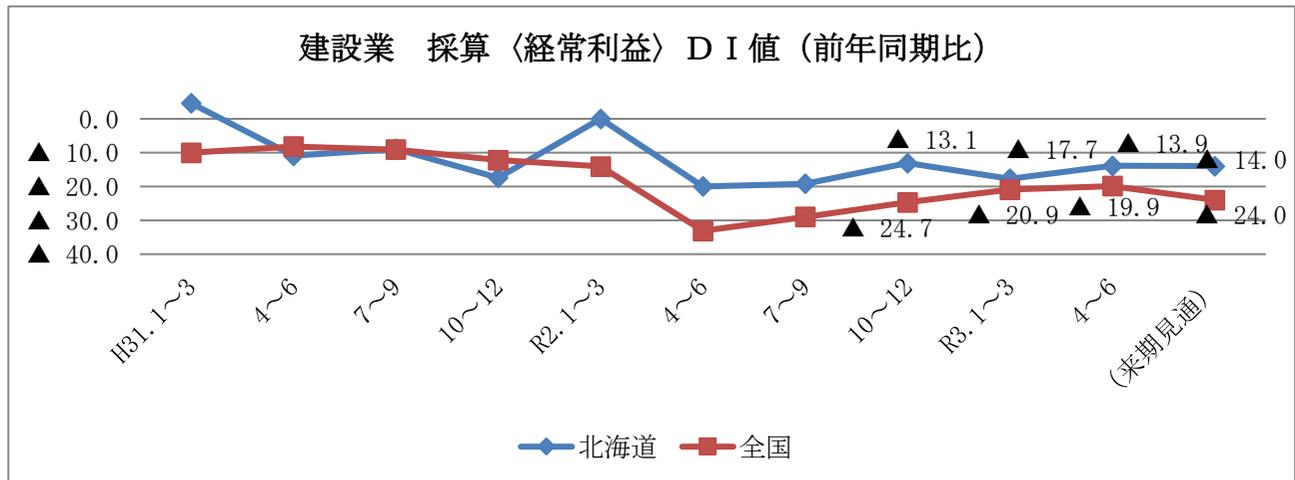
建設業

【北海道】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 【全国】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少

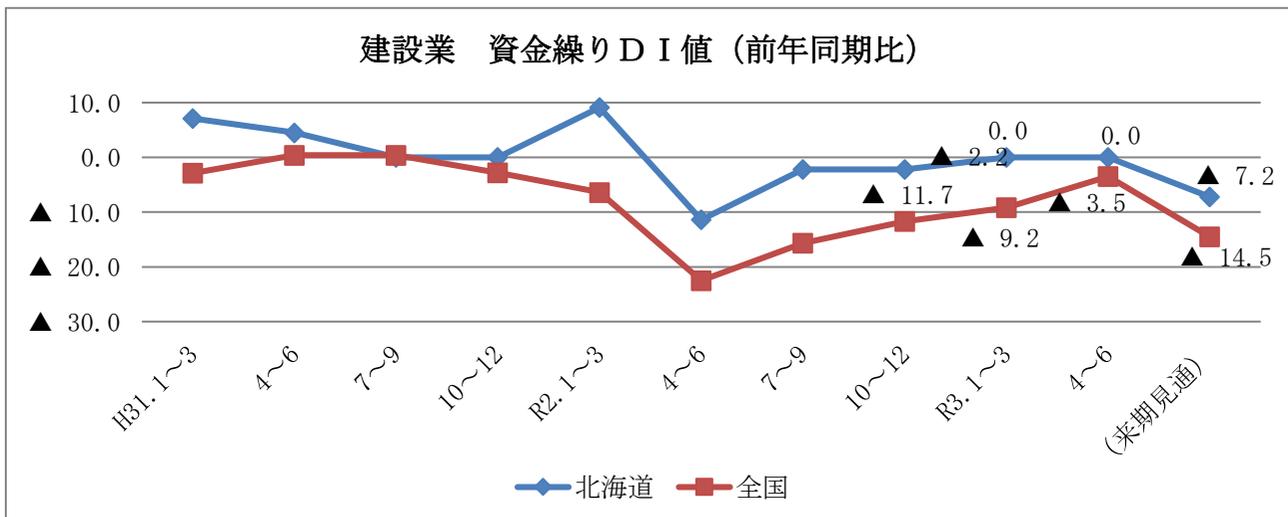
完成工事額



採算



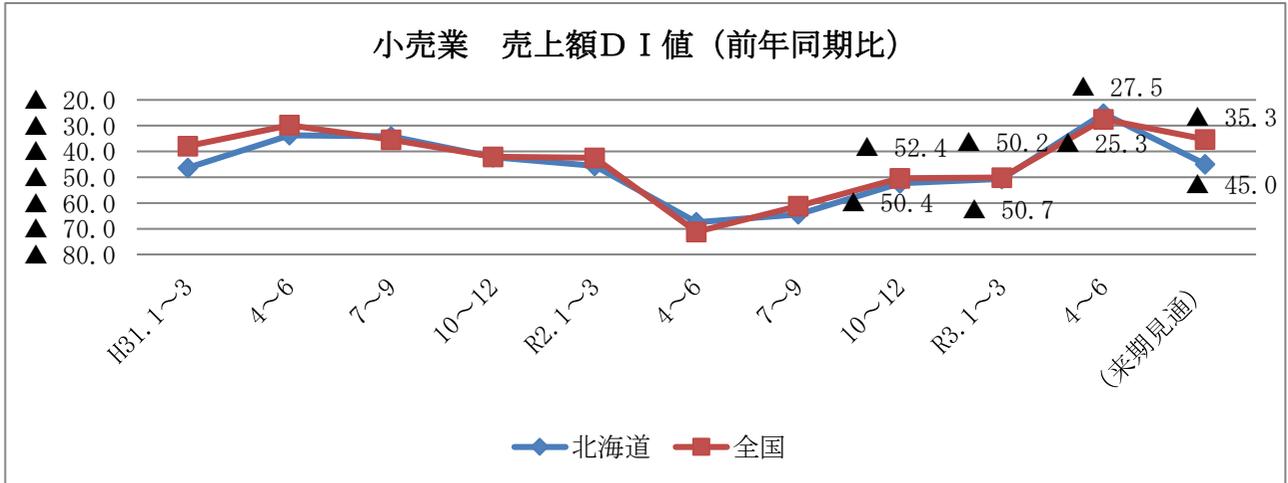
資金繰り



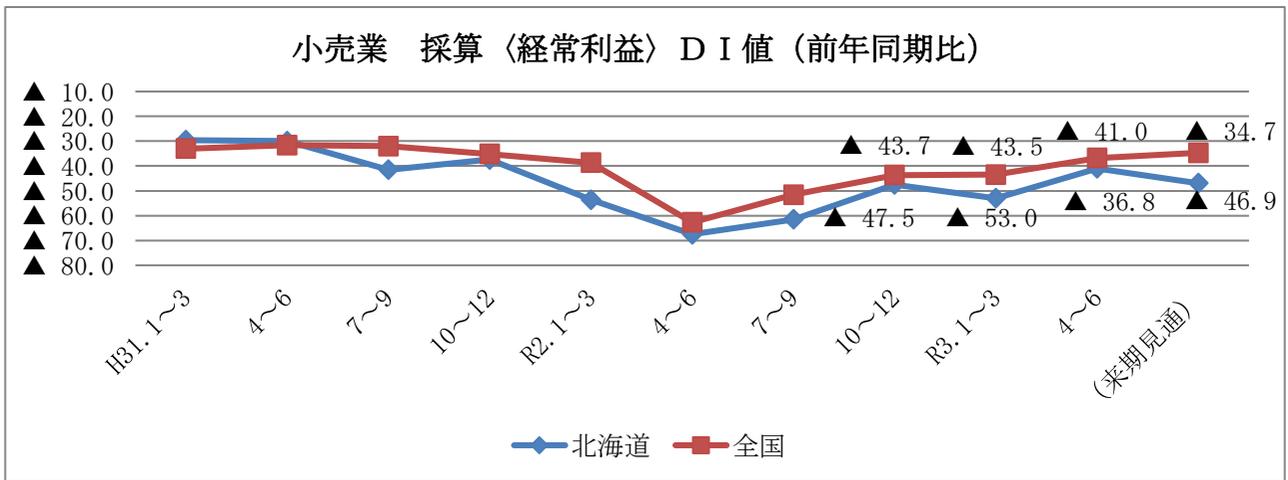
小売業

【北海道】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 【全国】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少

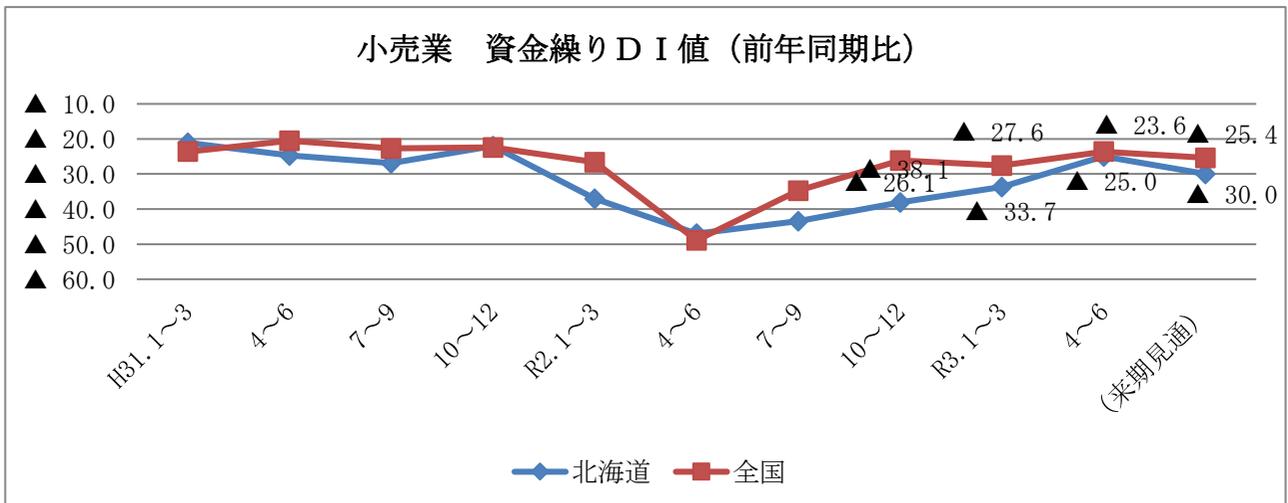
売上額



採算



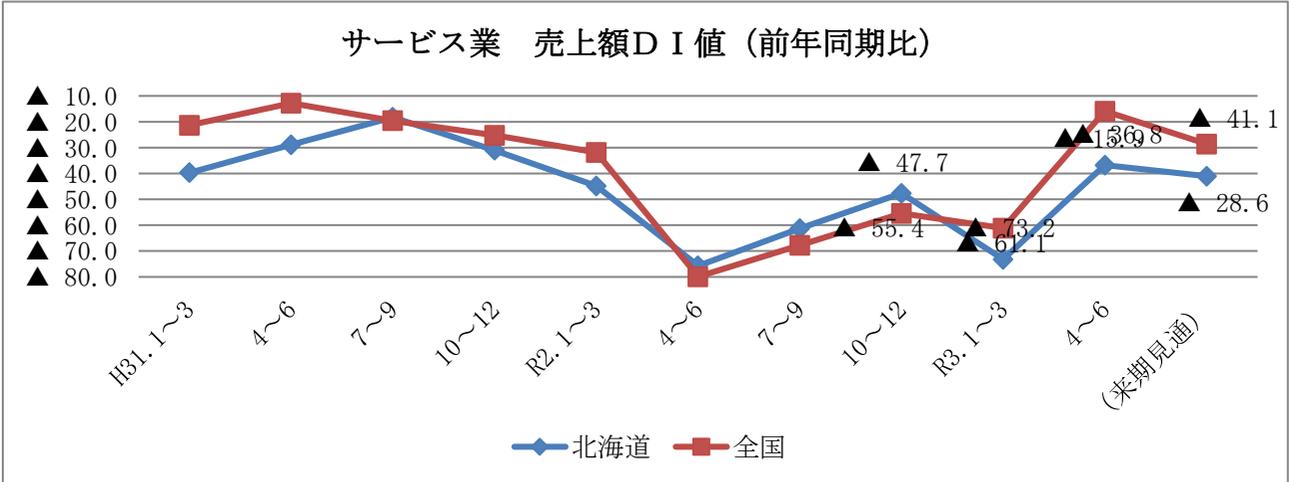
資金繰り



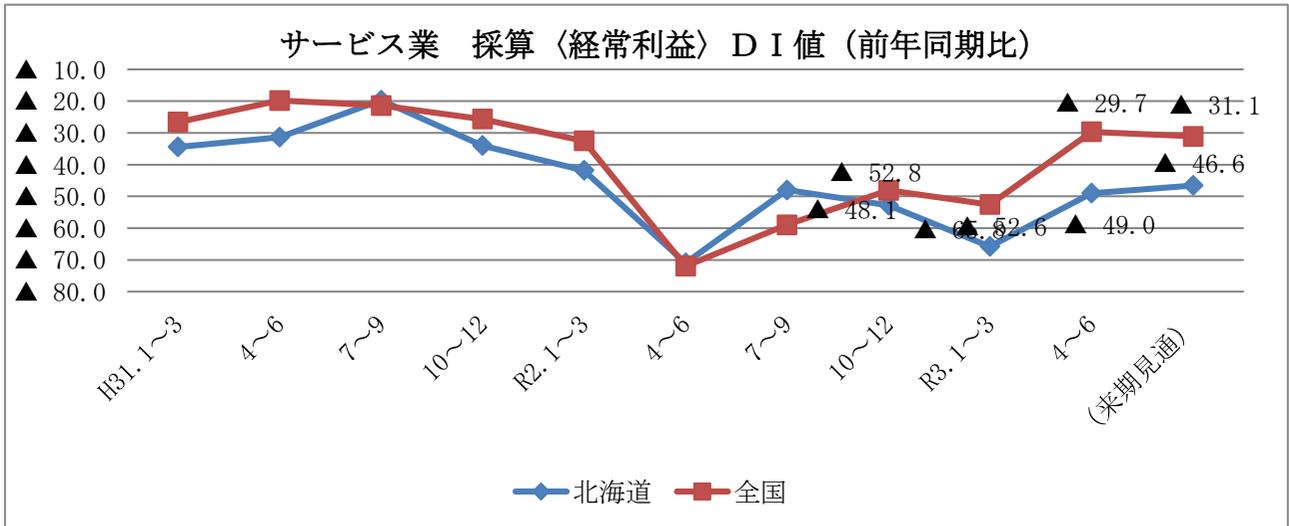
サービス業

【北海道】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 【全国】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少

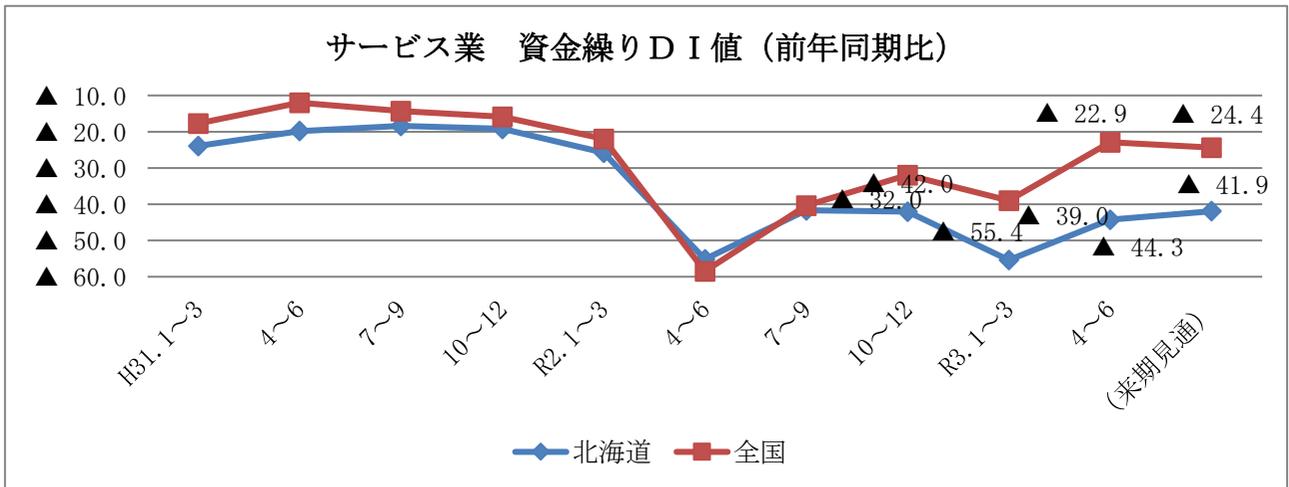
売上額



採算



資金繰り



5. 自社の業況判断の背景について感じている事(調査対象企業の声)

業種	内容
製造業	<p>●仕事はあるけれど利益率が低い事が課題だと思います。一つの会社の仕事だけではなく、他のお客さんの仕事もするように努めております。あと5月から鋼材の価格が上昇したことも挙げられると思います。●新規顧客の獲得を兼ねて、自社の商品や提供できるサービスをインターネットを通じて発信しようと考えています。対面取引するのが難しい中、今までよりも広く宣伝する事で販路を広げていけたらと考えています。●コロナのせいばかりにはしてられないが、人出が少ないのと、催事がないのは大きい。●コロナ禍の下、道内感染者数の増減が工房店舗への来客数には影響しますが、食料品の売上には大きな変化はないと思います。●コロナで請け負ってもらっている所からの依頼が減った。●厳しい状況が続いている。●昨年度は、特に上半期において新型コロナウイルス感染症の影響を少なからず感じたが、本年度はそのようなこともなく例年並みに推移している。●今後はリフォーム工事は減少し、補修がメインとなることが予想される。●コロナの影響で飲食店やそれに関係する仲卸業者への売上の減少が続いているが、自社ECサイトや、ECサイトやアンテナショップを運営している業者の売上が上がってきている。来期からは新規の顧客との取引が始まる。●《広尾町》毎月のように値上がりをする資材が悩みである。●新型コロナによる外出自粛のため、来客が減ったこと、冠婚葬祭が中止となり注文がないことにより業況が悪化していると考えます。●コロナ禍において、札幌市の百貨店での催事を行ってきたが、まん延防止、緊急事態宣言などで中止になり大きく売上が下がっている。ワクチン接種が大多数になるまでは厳しい状況が続くので今時点では売上減少が続く。●5月に入り、コロナ禍で需要が急に減り、処理数量が減少し始めた。今後のさらなる減少が心配される。</p>
建設業	<p>●民間需要の停滞が前年度より著しい為、今期の事業計画の見通しが立ちにくい状態です。飲食・宿泊業からの案件は乏しく、工場等の設備投資も改修か修繕のみであり、例年以上に事業案件が少なく苦しい状態です。●コロナの影響が心配です。●複数年にわたる仕事も出ているが、従業員不足で技術者の発掘育成が最大の課題。●建設業のコロナ影響は二極化していると思われる。当社は現時点であまり影響はないが、近隣の作業員のクラスター等、影響が出る可能性と消毒等の費用が生じ、さらに三密を避ける為に従来の工程を組めないことも考えています。●新型コロナウイルスによる景気の低下はあるが、現状公共事業はある程度の水準で維持されている。しかし、現に若干減少傾向にあり、また今後さらに影響がでてくる事と元々の維持の軽視傾向から悪化すると思われる。●コロナ禍において、建設業を取り巻く環境も一段と厳しさを増してきた。労務単価はここ最近では上昇してきたが、今期はすえおき、そして官公庁の公共事業が財政難から少なくなってきた、経営に悪影響を与えている。</p>
小売業	<p>●コロナの影響により人の動きが変わり、都度、売上、客数が変化するとともに増加へ転じることが予想される中での、緊急事態宣言と、その延長、外出の自粛による規制、客数の減少、巣ごもりの需要がある反面、規制による影響のほうが大きい。●緊急事態宣言により、ホテル飲食店への酒類納入がほぼゼロになり、酒を主に営業している店としてはいつまでこの状態が続くのが不安です。●ネットで買った商品の調整等が増え、来店数が減っている。●今年は、好転すると思われたがコロナが、また猛威をふるい、先行きがまったく見通せません。ワクチン接種も大混乱で、ただオロオロしている状態です。●コロナワクチン接種が、終わらない限り、売上も上がりません。●コロナ禍もつづき経営的にも厳しく、それに加え天候もよくなる売上、買上応数ものびなやみしている。●地域人口の減少による不安があります。●緊急事態宣言により、客足が遠のいている。当店も時短営業にして対応している。個客単価が低下している。●1年で落ち着くと思われたコロナ感染、今年も取引先の休業なかで、益々先が見えない状況です。支援金の早い受給を望みます。●コロナ禍の下イベント中止等で売上げの大幅減が続いており大変な状況が続いております。●当地の主力産業である一次産業の不振に加え、コロナ禍の影響も大きいと思うが、お客様の購買意欲が低下しているものを感じる。●消費者ニーズの変化に対応できていないため。●昨今の景気悪化に伴う状況で集客が困難になっている。●移動販売に顧客が流出し、売上が下がっている。●コロナの影響が今年の観光シーズンまで長引き、商売として成立させることが困難な状況である。●コロナでスポーツ大会、イベントが減少しているため、販売機会が少なくなっている。●緊急事態宣言により、来店客の減少。</p>

サービス業

●来店サイクルが伸びて、実質来店客数の減少があり、売上が伸びにくい。●仕入れ単価が高くて利益がもともと少ないのに大変だ。値上げすれば客はなお少なくなる。とにかくコロナにつきる。●去年が結構良かったので今期は例年並みかと思います。多少はお客様の単価が減っていると思います。●今はコロナ禍による需要の停滞の中、事業存続のために借入や経費削減で回復を待っている状態なのだが、回復後に以前と同じような業務内容や形態で対応できるかが不安である。●同じ内容の調査に意味があるのか分らない。調査が現況に反映されていない。●当店は60歳以上の顧客が多く、この緊急事態宣言で高齢者集まりもなく、農繁期も重なり外出することが減り美容室で髪を整える必要性がなくなった気がします。●新型コロナウイルスの影響で5月18日から休業。先の見通しが見つからない。●新型コロナウイルスの影響で利用頻度が低くなったこと、転勤で売上苦戦。新規顧客確保が課題。●コロナによる影響が大きい。●昨年11月から始めた新聞販売業により、昨年よりも業況が改善されているがチラシ収入は想定より落ちている。また、今期（今年4月）より社協生田原におむつを納品することになったことから売上が増大している。（※遠軽駅前の日下部薬局の閉店でおむつ仕入先がなくなったことによる）●経験年数を重ねると技術の向上を計ることはできる。しかし、年齢を重ねると肉体的に作業効率が下がることもある。常に人員の確保及び適正な労働環境のもと無理のない事業継承が整えば業況は安定すると考える。●人材不足と社員の高齢化が進んでいる。数年前から様座な対策を行っているが成果がでていない。新型コロナウイルスの影響は少ないが長期的に考えると影響が出るのが懸念される。●コロナの影響により企業体力がない。借金がかさみ今後、経済が回復しても今までのように店の経営ができるか…今までの借入金が足かせとなる。●今のところいいですが状況次第で影響も出てくると思っています。●ワクチン接種の迅速な対応が進まなければ、先の見通しはないと思う。飲食店の時短営業は、もろに影響を受けています。国の支援金は50%に限らず30%位でも対応していただける様、要望します。●今後の見通しが全く立たない状況に若干いきどおりを感じ、ワクチン等、政府の対策に正直あきれかえりに近いものを感じます。●5月の緊急事態宣言でお客様の足が止まりだしています。●売上が年々減少しており、他の仕事もしていかなければならない状況になっているため。●コロナ禍で比較的入っている方だと感じるが、客単価の低下、夜の来客が大きく減っている。●新型コロナウイルス感染症が長期化しているため、売上の増加が見込めない。●新型コロナウイルス感染症により宿泊客の減少が続いています。●コロナの影響や諸般の事情により長期的な休業を実施した。業況的にコロナの影響は大きい。●ここ数年、受注が変わっていない。●少しずつ回復傾向にあったが、緊急事態宣言発令により客足がピタリ止まってしまった。回復には1週間位かかりそうだ。一日でも早くワクチンと薬の開発を願っています。●おかげでコロナも影響が少なく、恵まれている業種かな。悪いなりに変りはない。●コロナにより店舗休業、時短営業が改善されない状況が続くと経営すること自体厳しい。国が助成金の対策をもっとしてほしい。